



淫魔の体が快樂を求めても
勇者の心は屈しない

そして勇者は
淫魔になって
性を貪る

魔の顔だ
にかわっている
どんな表情を
している？

原作：志岐転機 作画：れいどうみかん
製作協力：あむっいおかし製作所

魔王城への
出発式典当日

式典を行う拠点に
魔物達の襲撃があり
勇者ウォルス達は討伐にあたった

舞い踊れ雷

そして勇者は
淫魔になって
性を貪る

こうやってウォルスと
一緒に戦うのは
久しぶりだよな

ティアナ様を
護衛した時
以来だよな

あの数を一掃!!
相変わらず強いな

モルブ
他に魔物は?

今の魔物が
最後ですね
無事討伐完了です

討伐報告等は僕がしますので
ソルドガさんはウォルス様と
式典会場へお戻りください

了解
ウォルス
戻ろうぜ

うん

ああそういえば
ティアナ様が手紙で
出発式典の欠席を
残念がっていたぞ

ソルトガは
私の分もウォルス
さんにお見送り
させていただきますね

僕宛の手紙にも
書いてあったな

がよこぼっ
ましたね

激励も書かれて
いたんだけど
未だに子供扱い
されてしまっ...

ティアナ様は聖女と
して王都の結界維持や
皆の治癒で忙しいからね

聖女さま
ありがとー

ティアナ様にとって
俺達は幼い頃から
面倒を見てきた弟みたい
なものだからなあ

ソルドガは
異性として
見られたいのね

ははは、

うるせっ

旅立つ前にまた
ソルドガと話す機会が
持てて良かったよ

それは
俺もだ

次は凱旋した時に
旅の話聞かせてくれ
武運を祈っているぜ

うん
行ってくる

『鏡』よ『鏡』
この国で一番
強いのは誰だ？



——舞い踊れ雷！



魔王メルゼ様で
ございます

ではこの国で
一番愚かなのは
誰だ？



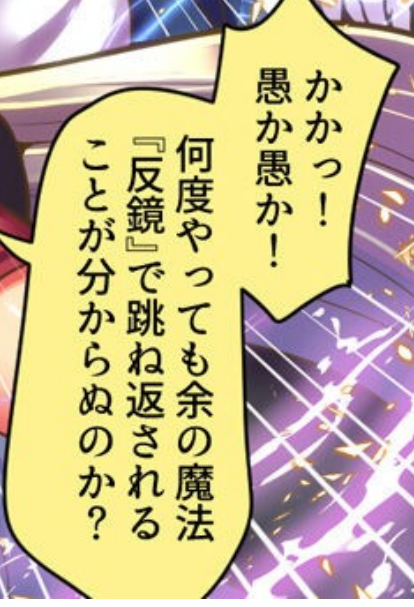
勇者ウォルスで
ございます

ぐあああああ！



これが人族
最強だと？

弱いな
よわよわ人族だ



かかっ！
愚か愚か！

何度やっても余の魔法
『反鏡』で跳ね返される
ことが分からぬのか？



……だと
したら

かかっ!
減らず口を!

僕に倒された
魔族達はなん
だったのかな?

確かに貴様の
所為で魔族は
大分減った

が

それはまた
増やせば
いいだけの話よ

!?

——全てを
奪え鏡牢



くっ——

咲き乱れる
雷!

なっ魔法が
出ない!?

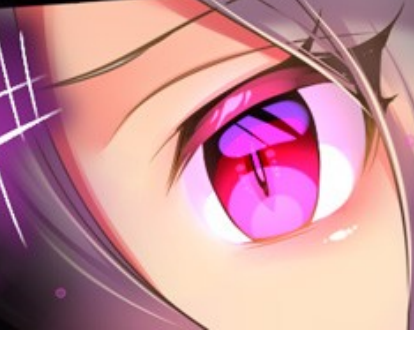
かっ!
無駄だ無駄!

『鏡牢』は
余の支配空間だ

余の許可なく
魔法は使えんよ

だったら
この聖剣で!

無駄だ



っう!?

聖剣に
拒まれた!?

クク…
貴様に聖剣は
握れんよ

どういう
意味だ!

貴様はもう
勇者でも

ましてや
人族でも
ないからだ

な…!?



その役目を
貴様に与える

新たに
魔族を生み出す
祖となれ勇者

いや

淫魔——
サキュバスよ



これが……僕？

こここんな幻覚に
惑わされると
思うな！

かかっ
信じられぬか

ならば実感
させてやろう

貴様が倒した魔族種は
淫魔だけではないが
その魔族種が一番
面白いであろう？

まずはその服で
押し潰されている
乳房を晒してみよ

体が
勝手に!?



でっ!!?

揉んでみる

ぽろぽろ

ぷるる



どうして魔王の言葉に逆らえないんだ!?

その手が乳房を揉む触感が伝わるか?



ぽろ

ぽろぽろ

ぽろ



ぽろ

ぷる

ぽろ



ほれ下の服も
脱いでみよ



やめろ！



こんな…
胸を少し触った
だけなのに…

何よりもじわじわと
体の奥を疼かせる
その感覚はどうだ？



その力の源は
脱ぐことへの羞恥心か？
それともその先を確認
することへの恐怖心か？

何にせよこれまでで
一番の抵抗よな

かかっ！
『鏡牢』の中で
余の言葉にそこまで
抗うとはな！

それも服を脱ぐ
脱がないで！



強制力が
強まった!?

ぐっ!?

だが無駄だ



そんな……

僕のが…
本当じゃない…

ほれ鏡の前で
股を開いてみよ

カカツ…
どうだ

見ての通り
貴様の陰茎は
消え失せた

これからは
その陰核を
愛でてやれ

くっ!

なん
え!?

なんだこれ!?
割れ目から奥に
熱が広がって…

んっあ!?

頭がほわほわする…
手が止まらない…!



こんな姿
これじゃあ
本当に……!

だめだ!
もう……!



こんな辱めを
受けているのに
まだ体が疼いて
いるなんて……

くっ!

その姿は幻覚の類
ではないと!
それが今の
貴様の体だと!



かかっ!

どうだ?
実感したか?



余の知っている勇者は…

はて？

何を言う！
僕は勇者だ！

それにしても勇者が魔王の前で自慰を披露とは実に愉快よ
おっと既に貴様は勇者ではなかったな



僕!?

こんな姿だと思っただが？

かっ貴様の姿を変えた余が己の姿を変えたくらいで何をそこまで驚く？

余にとって姿を
変えるなど造作もない

先程までの姿も

今日の服と一緒に
気分で決めたものだ

そうたやすく

本来の姿は見せんよ

それよりもまだ
この姿を『僕』と
言うのか

これはより一層
己が何者かを
分からせるしか
ないようだな

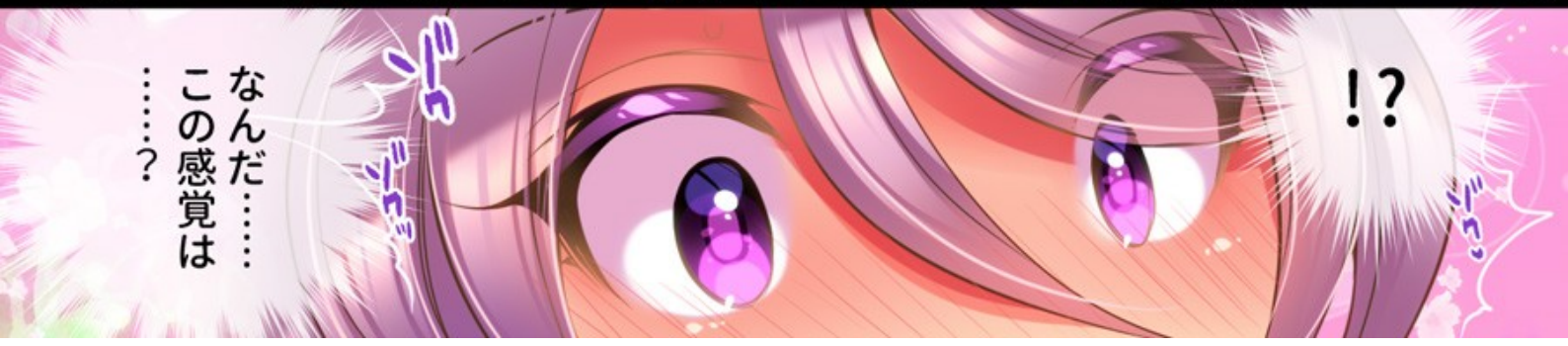
わあ！
おちんちんだ！

いや何を
言っているんだ
僕は！？

何もおかしい
ことはない

淫魔である
貴様はこれを
欲しているのだ

ややめ



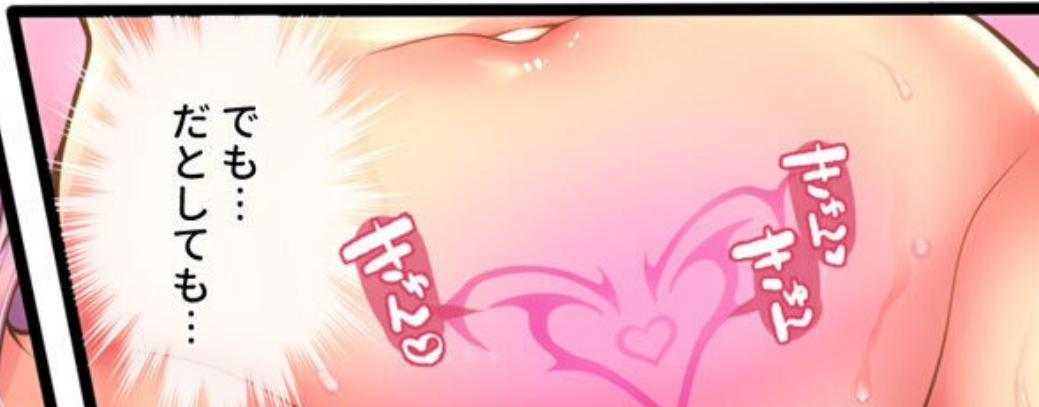
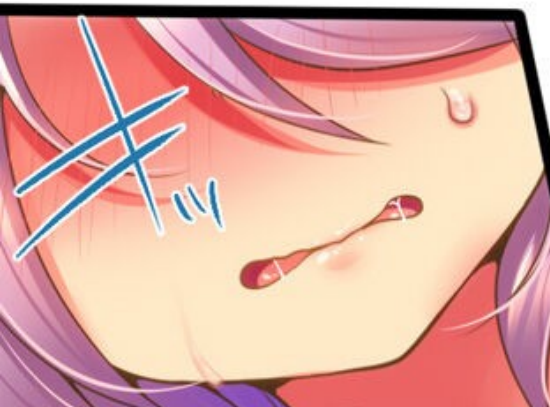


この甘ったるい声は
僕の口から
漏れているのか？

魔王が動く度
体中に多幸感が
広がって…



体が…魔王を
求めて動く…



でも…
だとしても…



その体を感じる
快楽を受け入れよ

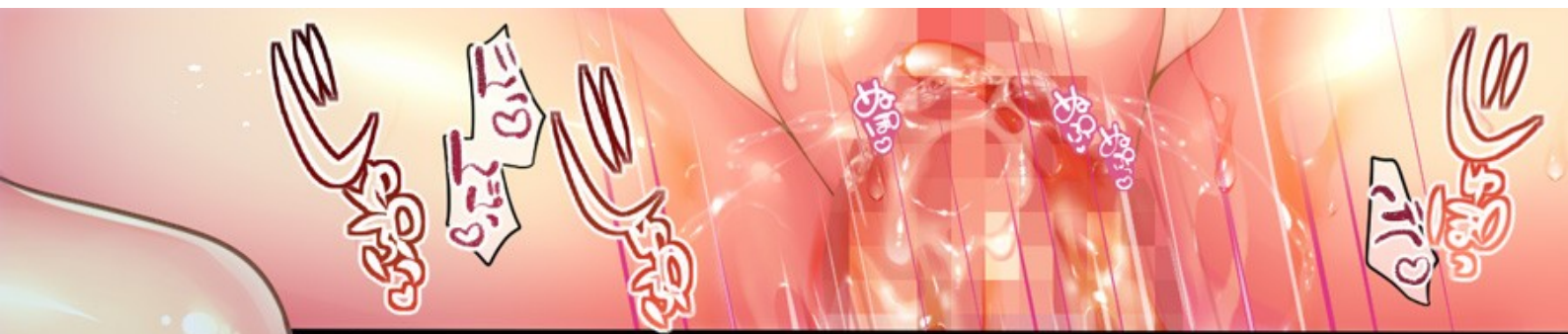


僕の心までは
屈しない…
屈しないんだ…!!

だって僕は
勇し—



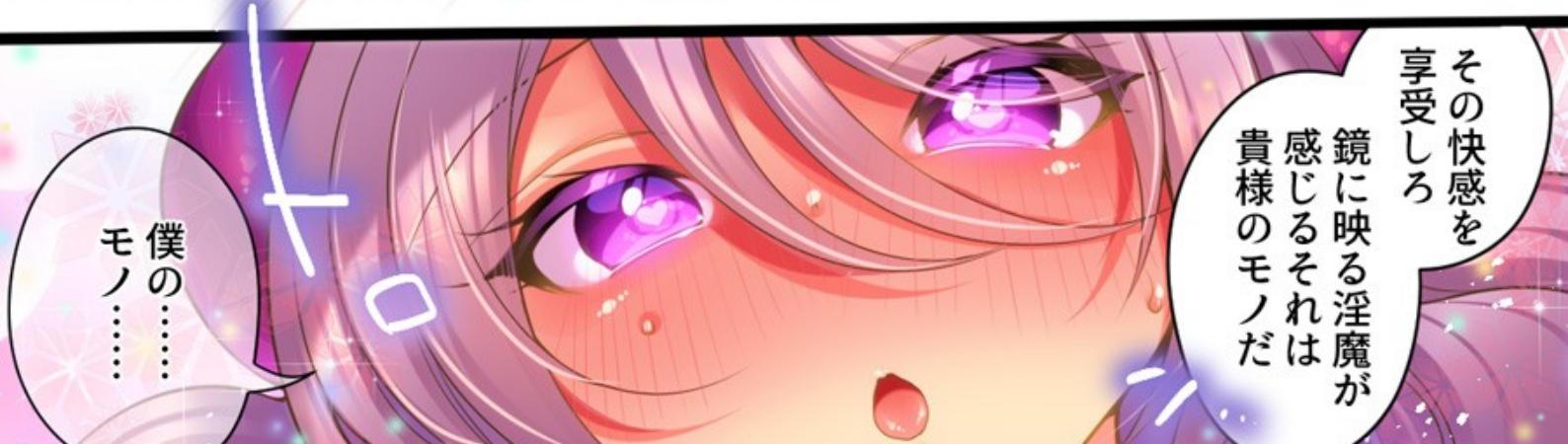
無駄だ
淫魔



見ろ
今抱かれています
淫魔の顔だ
どんな表情を
している？



とっも...
気持ち
よさそうだ...



その快感を
享受しろ
鏡に映る淫魔が
感じるそれは
貴様のモノだ

僕の...
モノ...



そんなに出してほしいか？

……その……はい

聞こえぬな？

どうしてほしいのだから、己の欲望を口にしろ



かかっ！
締め付けが
強くなったな！



はっ……

僕の中に
いっっぱい
出してくださる♡

かかっ！
ならば出すぞ！
しっかりと味わえ！

はっ……
はっ……
はっ……

はっ……
はっ……



ああ……

ハハハハ

ハハハハ

お腹の奥から
力が満ちていく



では改めて問おう
貴様は何者だ？
勇者か？

僕は淫魔

魔王様の為
新たに魔族を生み出す
祖となる魔族です♡

いいえ勇者でも
人族でもありません

かかっ よろしい
己が何者なのか
しっかりと
分かったようだな

前の服はもう
似合わんだらう
その服は
誕生祝いだ

感謝いたします
魔王様!

淫魔は精液を
糧とする魔族だ

その為の力そして
淫魔を増やす力を
貴様に与えよう

敵襲！ 敵襲！
拠点内にサキュバスが
侵入したぞ！



なんでこんなに
サキュバスが
いるんだ!?



あれは
モルブ!?

ぐわあああ！

ぐああ...



モルブが
サキュバスに!?



.....いや待て



まさか.....



他のサキュバスにも
兵士の制服を
着ているヤツが
いないか?



その
まさかだよ





ソルドガは
理解が早いね

なんで俺の名前を
知っているんだ？

なんで
って…

ああそうか
今は姿が
変わって
いるものな

キヤッ



ただいま
ソルドガ

僕だよ
ウォルスだ



…だったら
名前を知って
いても不思議は
ないか

信じて
くれるかい？

さっきの
モルブを見れば
貴様がウォルスの
可能性もあるな

それなら

キヤッ

だとしても
剣を収めるはずが
ないだろ

この拠点を
襲った以上
貴様は敵だ

例えそれが…
ウォルスでもな

…立派な
兵士だね
ソルドガは

仲良く
しようよ

でも距離を
とられるのは
悲しいな

これは
一体!?

じゅんぐわん…

剣や防具も
どこに!?



んっ

ぱい

ぱい

ぱい



触りたかったんだろ？



ぱい

ぱい

ニギキ



お……



ニギキ

ニギキ

おっ……
おっ……



そんなに固く
大きくなる程
私に興奮して
くれたんですね♡

それなら



!?

ニギキ

ニギキ

ニギキ



ニギキ

ふっ♡

私のおっぱいで
もっと気持ちよく
なってください♡

ティアナ様の
おっぱいで…

いや違う…
この御方は…



フム…

素直になって
いいんですよ

フム…

ティアナ様が
俺のを挟んで…

フム…

!?

ティアナ♡

こういうことを
してほしかったん
ですよね♡

気持ちいい
ですか？

何故だ？

変身を見たのに
この御方が
本物だと
思ってしまう…

気持ち
いいみたい
ですね♡

じゃあもっと
頑張っちゃいます♡

ティアナ様
がお口で!!

舌が!!

ダメだ!
耐えられない!

あま…♡

あま…♡

あま…♡

あま…♡

あま…♡

あま…♡

ふふっ
たらくさん
出ましたね♡

……
貴様!

どうしたんだ
ソルドガ?
今更取り繕う
必要はないぞ?

僕はソルドガの前で
ずっと無防備だったのに
攻撃もせずされるが
ままだったじゃないか

もう分かって
いるんだろ?

ここには僕と
ソルドガしか
いないんだ

えっ!?



あっ

ティエナ

ティエナ



欲望を……

それでは
私の中にお迎え
しますね♡



ぬち

素直に欲望を
解放しなよ



俺が
ティエナ様と
繋がって……

ティエナ

ぬち

どうですか？

私の中は気持ち
いいですか？

ティエナ

ぬち

ぬち



どうぞ
お好きに♡



ティアナ様
俺は……!!



駄目だ
もうこれは
……!!
きゃっ



ソルドガの
おちんちんが
僕の中で
暴れてる……♡
ソルドガの想いが
全身に満ちてく……♡

締め付けが強い……
でも……ぬるぬるして
……気持ちいい……

あっ♡ あっ♡
来る♡ いく……
イッちゃおう♡

だったら
その対価を
いただくよ

——知らない
記憶が雪崩
込んでくる!!

ぐわあああ!

っう…やめろ!
俺に淫魔の知識を
寄越すな…!!

体が!?

駄目だ!
変わらないでくれ!

私は……
違う!俺は……
私は……!!







ソルドガちゃん
以外も全員
淫魔化が完了です♡

報告
ありがとうございます
モルブ

それじゃあ
別の場所に
向かおうか

二人にも
誕生祝いだよ♡

わあ

もっと精液を
味わう為に♡

そしてもっと
淫魔を増やす
為にね♡

END



ニキ



♀





